

質問 小川議員（自民・瑞浪市）令和7年12月11日（木）

2 江崎県政における文化・芸術の振興について

答弁 知事

日本は、伝統工芸や舞台芸術を始め、世界から高く評価される多様な文化・芸術を有しております、これらは我が国の価値や存在感、これを高めるための大きな力となっております。

岐阜県もまた、豊かな自然に恵まれ、古くから交通の要衝として全国と交流を重ねる中で、多彩で質の高い文化や芸術が生まれてきております。

この素晴らしい資源を磨き、着実に後世に伝えていくためには、まずは私たち自身が、その存在や価値を知り、体験し、自分の言葉で発信することが重要です。岐阜の誇る鶴飼もそうですが、まだまだ、岐阜県の中では体験した人が少ないと言われております。そうしたことから、我々自身がいかにこれを大切にするか、これがまずは第一歩だと思っております。そのうえで、岐阜県に生まれ育った子どもたちが、地域の文化を誇りに感じられるよう、しっかりと「伝え」「守り」「育てる」ことが重要だと思っております。

また、海外からインバウンド客が増加しつつあるだけでなく、外国人観光客の行動が、これまでの「観る」というものから「体験する・学ぶ」という方向へ移行しており、文化・芸術の分野においても、こうしたニーズに応じた戦略が求められると考えております。

これらを踏まえ、今後は、岐阜県の文化や芸術を未来につなぐため、次の3つの柱により戦略的振興に取り組んでまいります。

まず第一は、「誰もが文化に触れ親しめる機会の創出」でございます。図書館や美術館、ぎふ清流文化プラザなど、県有の文化施設につきまして、今年夏に行いました「わくわくプロジェクト」のような賑わいを創出し、読書や文化・芸術に親しむ機会を増やしてまいります。また、県有文化施設に加え、県庁舎などの県有施設を、作家や県民の皆様による創作活動の発表の場、事業所・家庭で所蔵する美術品等の披露の場として、大いに活用してまいります。

併せて、一流のアーティストが小中学校や特別支援学校へ出向く事業を重点的に実施し、子どもや障がいのある方が文化芸術に触れ親しむ機会の充実を図ってまいります。

第二は、「文化の継承に対する支援」であります。伝統文化を守り継承している保存団体に対し、伝承教室など、担い手育成、文化財の修理・保全活動への支援などをを行い、地域に受け継がれてきた文化の保存・継承を着実に推進してまいります。

そして第三は、「文化の国内外への魅力発信」です。本年6月の大阪・関西万博での「岐阜県催事」では、議員ご指摘のように、19の団体、約500人の県民の皆様に出演いただき、本県の歴史、伝統、文化の魅力を発信したほか、9月には、高山陣屋において地歌舞伎を公演し、大きな反響を得たところでございます。今後は、こうした魅力ある本県文化を海外からの誘客につなげるため、例えば、武士道の精神に通じる「座禅」や「茶の湯」と組み合わせた、ストーリー性のある旅行商品を更に造成し、プロモーションを強化してまいります。

これら3つの柱を一体的に推進するため、今年度、「観光文化スポーツ部」を設置したところであり、当部が司令塔となって、本県文化の創造と継承を支援し、発信力を高め、国内外から選ばれる岐阜県の実現を目指してまいります。

他方、県内文化団体に対する相談支援や人材育成といったきめ細かな対応については、県教育文化財団が担うこととしております。ご提案のありました「アーツカウンシル」につきましては、本年7月に、当財団内に「アーツ・クリエイションぎふ」を設置し、文化団体への助成に加え、専門家による相談・助言等の取組を始めており、まずはその効果について検証してまいりたいと考えております。

担当課 文化創造課

電話番号 058-272-8245

メール c11146@pref.gifu.lg.jp